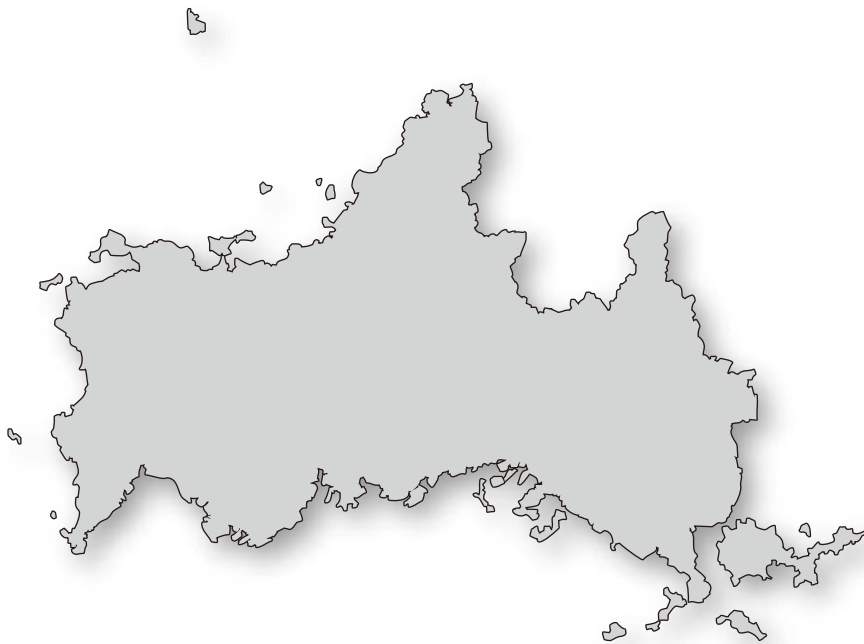


# 山口県商工会地域 中小企業景況調査報告書

2025年1月－3月期



|                |       |         |
|----------------|-------|---------|
| 調査要項           | ..... | 1P      |
| 1 山口県 全産業      | ..... | 2P      |
| 2 山口県 製造業      | ..... | 3P・4P   |
| 3 山口県 建設業      | ..... | 5P・6P   |
| 4 山口県 小売業      | ..... | 7P・8P   |
| 5 山口県 サービス業    | ..... | 9P・10P  |
| 6 全 国 全産業      | ..... | 11P     |
| 7 山口県 調査対象企業の声 | ..... | 12P～14P |

2025年4月9日  
山口県商工会連合会

# 調査要項

## 1 調査趣旨

この調査は、商工会地域の企業活動状況を把握するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構の委託を受けて全国商工会連合会が実施するもので、本会はこれら貴重な景況情報を「山口県商工会地域中小企業景況調査報告書」としてまとめ、商工会の経営改善普及事業の効果的实施に資することを目的とする。（年4回発行）

## 2 調査対象地区及び対象企業等

- (1) 全国商工会連合会により指定された 614 地区の商工会のうち、山口県は 10 商工会 150 企業を調査対象として指定する。
- (2) 調査対象区域は地域人口等に配慮し、県東部・中部・西部・北部地域の商工会とし、製造業及び建設業は従業員 20 名以下、小売業及びサービス業は従業員 5 名以下の企業規模を対象とする。
- (3) 調査対象企業は、1 商工会地域につき 15 企業とし、業種は製造業、建設業、小売業及びサービス業（サービス業は飲食店、宿泊業、洗濯業、理美容その他のサービス）の 4 種類とする。

## 3 調査対象期間及び調査時点等

- ・ 調査対象期間及び調査内容は 2025 年 1－3 月期における前期及び前年同期に対する景況感（現況）と来期（2025 年 4－6 月期）における景況見通しを調査した。
- ・ 調査は 2025 年 2 月 17 日から 3 月 4 日の期間に実施した。
- ・ 調査方法は商工会経営指導員による聴き取りでおこなった。

## 4 回答企業数内訳

| 業 種   | 対象企業 | 構 成 比  | 回答企業 | 回 答 率  |
|-------|------|--------|------|--------|
| 製 造 業 | 30   | 20.0%  | 30   | 100.0% |
| 建 設 業 | 28   | 18.7%  | 28   | 100.0% |
| 小 売 業 | 42   | 28.0%  | 42   | 100.0% |
| サービス業 | 50   | 33.3%  | 50   | 100.0% |
| 合 計   | 150  | 100.0% | 150  | －      |

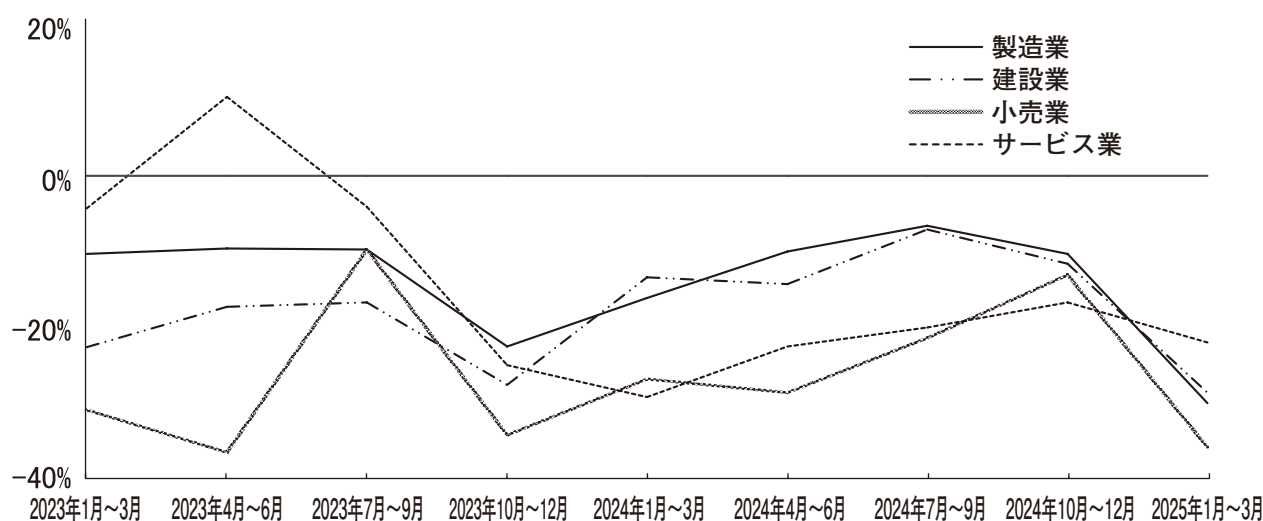
## 5 業況判断指標

景況を示す業況判断指標は、Diffusion Index (DI) を用いた。DI は前年同期（基準）に対する変化の方向については、上昇（好転）とする回答割合から低下（悪化）とする回答割合を差引いた数値で、「変化の趨勢を示す指標」として用いられている。

※DI がプラスの場合は「強気・楽観」傾向つまり上昇機運にあるとされ、マイナスの場合は「弱気・悲観」傾向つまり低下機運にあるとされている。また、プラス・マイナスが同数（DI ゼロ）の場合は変化がないことを示す。

# 1. 山口県 全産業

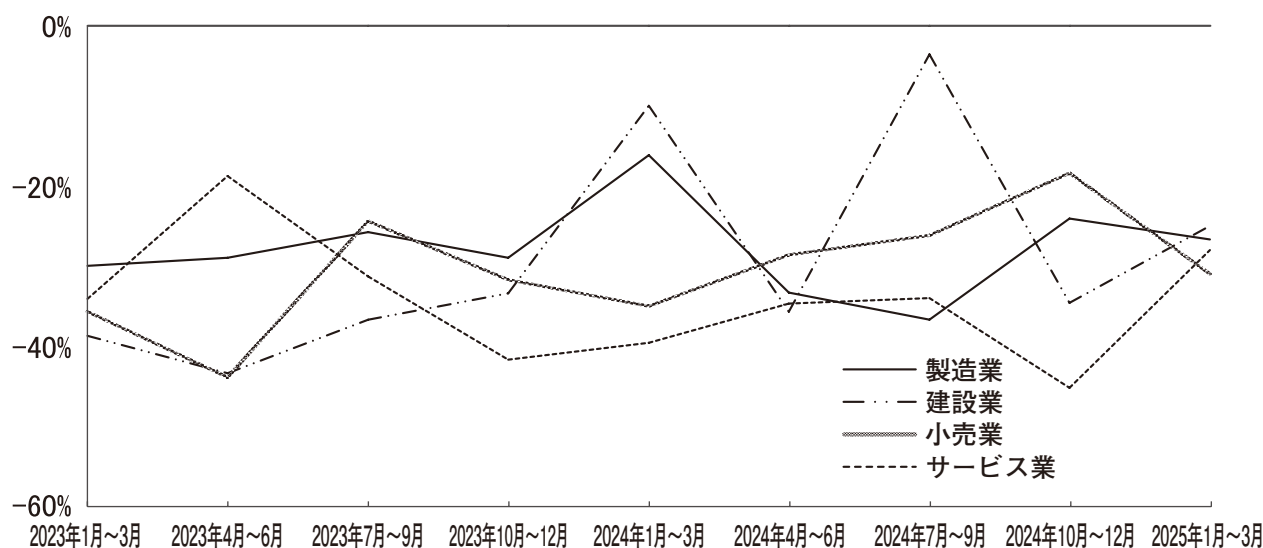
## 1 売上（完成工事）額の推移 ―前年同期比―



**D I 値** 製造業－30.0（前期は－10.3、前年同期は－16.1）、建設業－28.6（前期は－11.6、前年同期は－13.4）、小売業－35.8（前期は－13.1、前年同期は－26.8）、サービス業－22.0（前期は－16.7、前年同期は－29.2）

**業況D I 値** 製造業－30.0（前期は－6.9、前年同期は－19.4）、建設業－39.3（前期は－23.1、前年同期は－13.3）、小売業－26.2（前期は－21.0、前年同期は－31.7）、サービス業－22.0（前期は－33.3、前年同期は－33.3）

## 2 採算の推移 ―前年同期比―

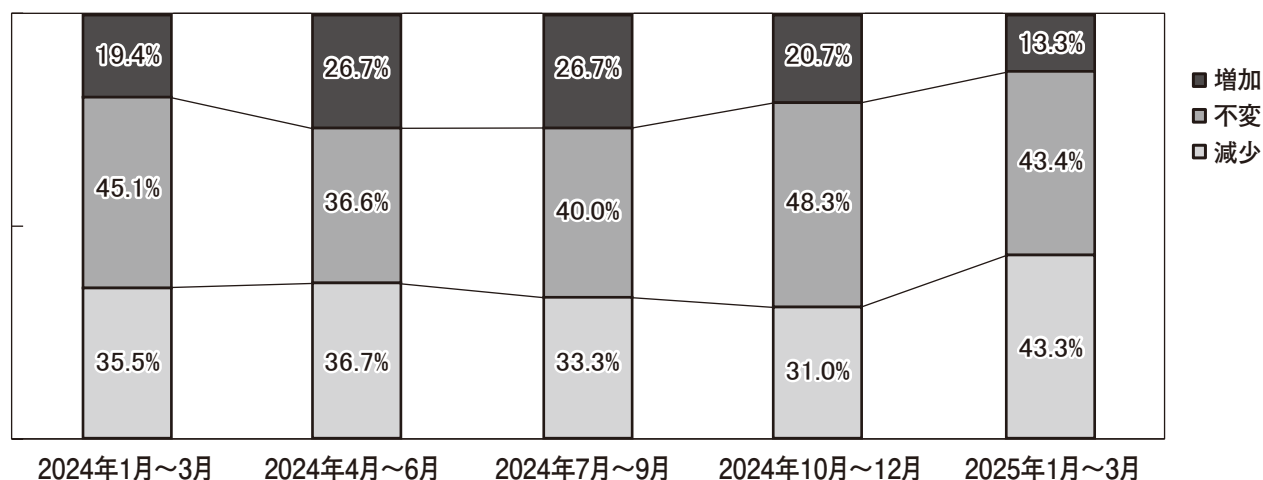


**D I 値** 製造業－26.7（前期－24.1、前年同期は－16.2）、建設業－25.0（前期－34.6、前年同期は－10.0）、小売業－31.0（前期は－18.4、前年同期は－35.0）、サービス業－28.0（前期は－45.2、前年同期は－39.6）

**資金繰りD I 値** 製造業－16.6（前期は－10.4、前年同期は－12.9）、建設業－25.0（前期－19.3、前年同期は－20.0）、小売業－23.8（前期は－24.3、前年同期は－12.5）、サービス業－18.0（前期は－23.8、前年同期は－22.9）

## 2. 山口県 製造業

### 1 ①売上額の状況 ー前年同期比ー

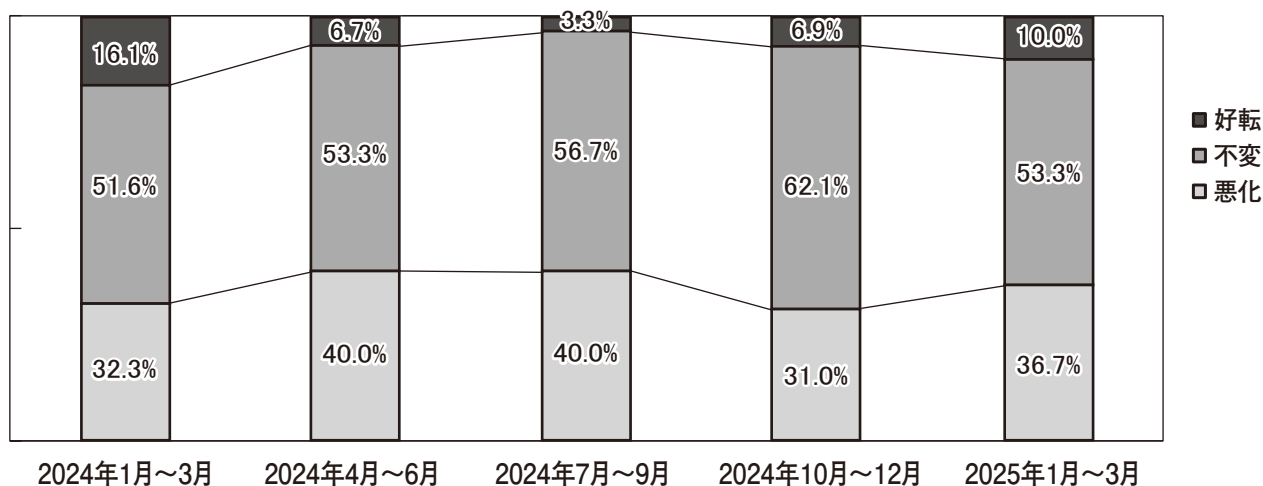


②前期と比較 「増加」10.0%（前期は24.1%、前年同期は12.9%）、「不変」46.7%（前期は58.7%、前年同期は51.6%）、「減少」43.3%（前期は17.2%、前年同期は35.5%）

③来期見通し 「好転」17.2%（前期は26.7%、前年同期は25.8%）、「不変」51.8%（前期は46.6%、前年同期は61.3%）、「悪化」31.0%（前期は26.7%、前年同期は12.9%）

④その他のD I 値 原材料在庫数量－17.2（前期は－10.4、前年同期は－10.3）、製品在庫数量－13.8（前期は－14.3、前年同期は－17.3）、売上単価23.4（前期は13.8、前年同期は16.1）、売上数量－43.4（前期は－24.2、前年同期は－19.4）

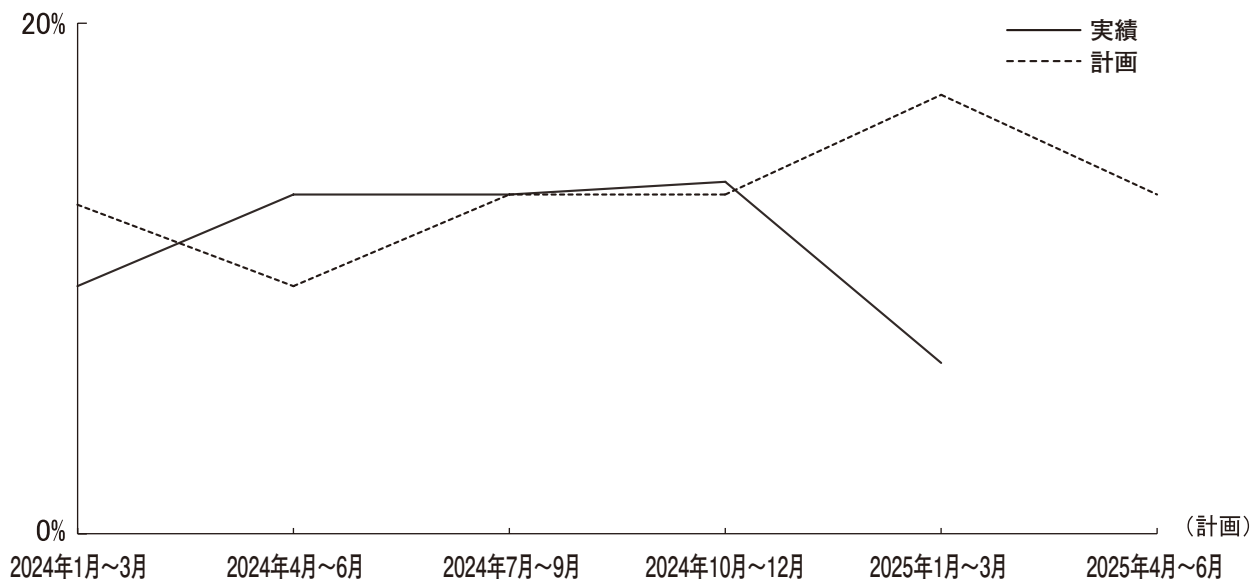
### 2 ①採算の状況 ー前年同期比ー



②来期見通し 「好転」3.4%（前期は10.0%、前年同期は6.5%）、「不変」65.6%（前期は60.0%、前年同期は74.1%）、「悪化」31.0%（前期は30.0%、前年同期は19.4%）

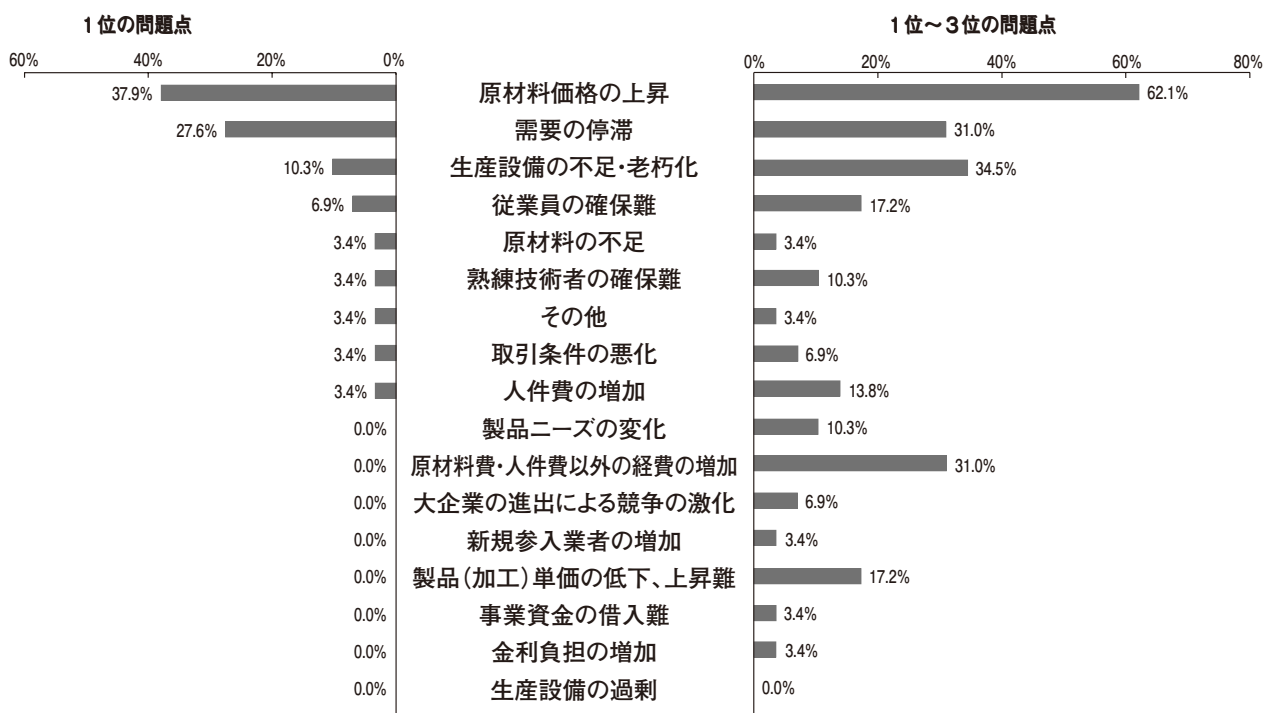
③資金繰り 前期と比較で、「好転」3.3%（前期は6.9%、前年同期は3.2%）、「不変」76.7%（前期は82.8%、前年同期は74.2%）、「悪化」20.0%（前期は10.3%、前年同期は22.6%）  
来期見通しは、「好転」6.9%（前期は6.7%、前年同期は3.2%）、「不変」72.4%（前期は73.3%、前年同期は80.7%）、「悪化」20.7%（前期は20.0%、前年同期は16.1%）

### 3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業2社（生産設備2）、実施しなかった企業28社。来期に設備投資を予定している企業4社（生産設備3、OA 機器1、その他1）、予定していない企業26社。  
 設備操業率DI値 -33.4（前期は-17.2、前年同期は-20.0）

### 4 経営上の問題点の状況（1位と1～3位）

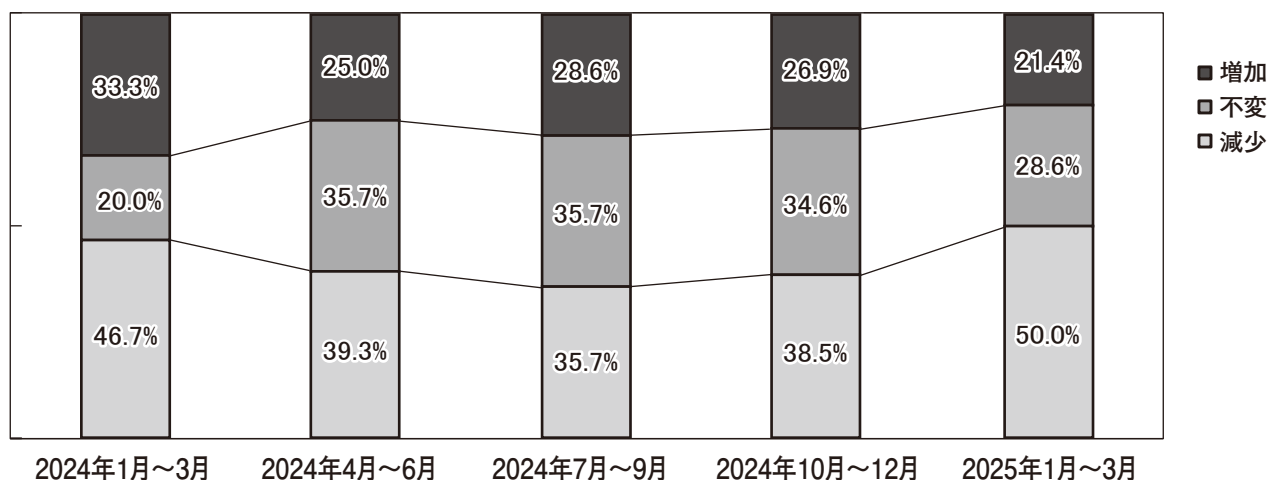


「製品ニーズの変化」・「原材料価格の上昇」の割合が低下し、「需要の停滞」・「生産設備の不足・老朽化」の割合が上昇した。

**借入金利** 前期と比較で、「好転」7.7%（前期7.7%、前年同期は0.0%）、「不変」92.3%（前期は92.3%、前年同期は100.0%）、「悪化」0.0%（前期は0.0%、前年同期は0.0%）

### 3. 山口県 建設業

#### 1 ①完成工事額の状況 ー前年同期比ー

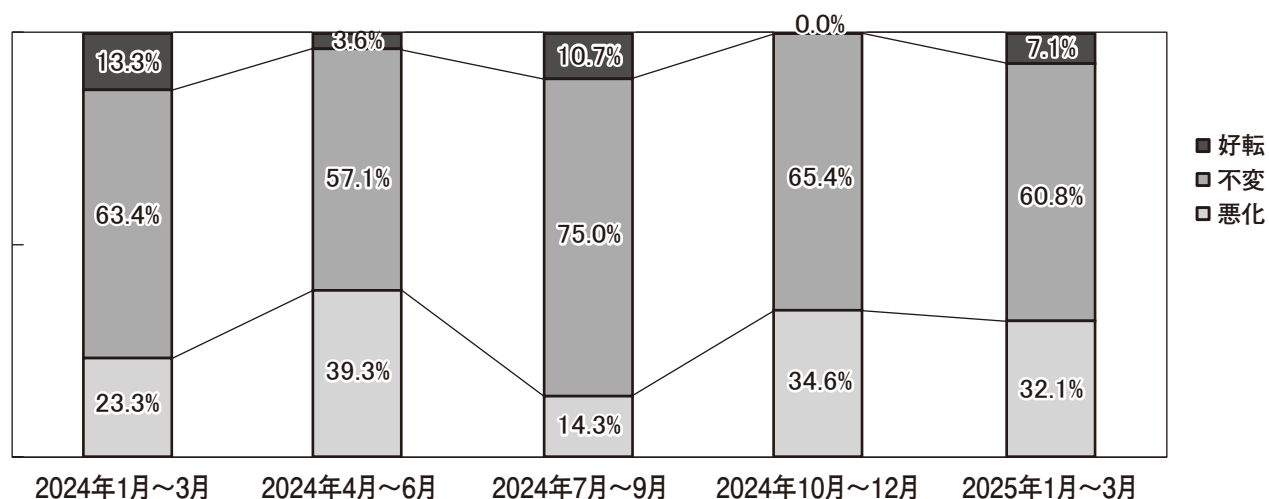


②前期と比較 「増加」21.4%（前期は23.1%、前年同期は30.0%）、「不変」42.9%（前期は30.7%、前年同期は20.0%）、「減少」35.7%（前期は46.2%、前年同期は50.0%）

③来期見通し 「好転」7.7%（前期は14.3%、前年同期は6.9%）、「不変」53.8%（前期は46.4%、前年同期は44.8%）、「悪化」38.5%（前期は39.3%、前年同期は48.3%）

④その他のD I 値 新規契約工事額－39.3（前期は－32.0、前年同期は－10.0）、材料仕入単価71.4（前期は60.0、前年同期は75.9）、引合い－16.0（前期は－27.3、前年同期は－12.5）

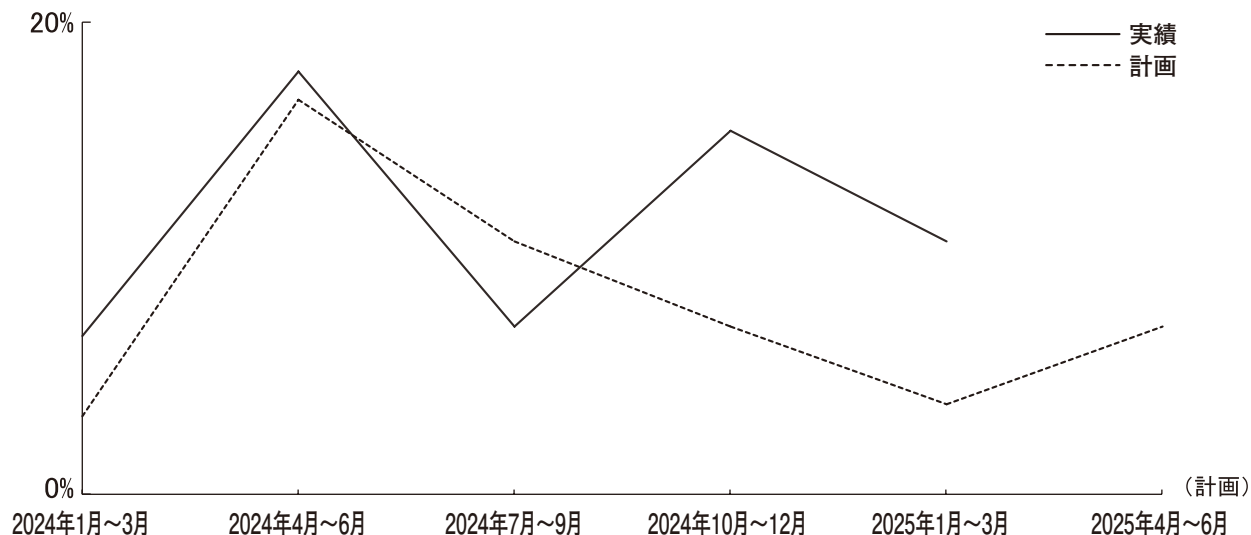
#### 2 ①採算の状況 ー前年同期比ー



②来期見通し 「好転」3.8%（前期は7.1%、前年同期は0.0%）、「不変」77.0%（前期は71.5%、前年同期は66.7%）、「悪化」19.2%（前期は21.4%、前年同期は33.3%）

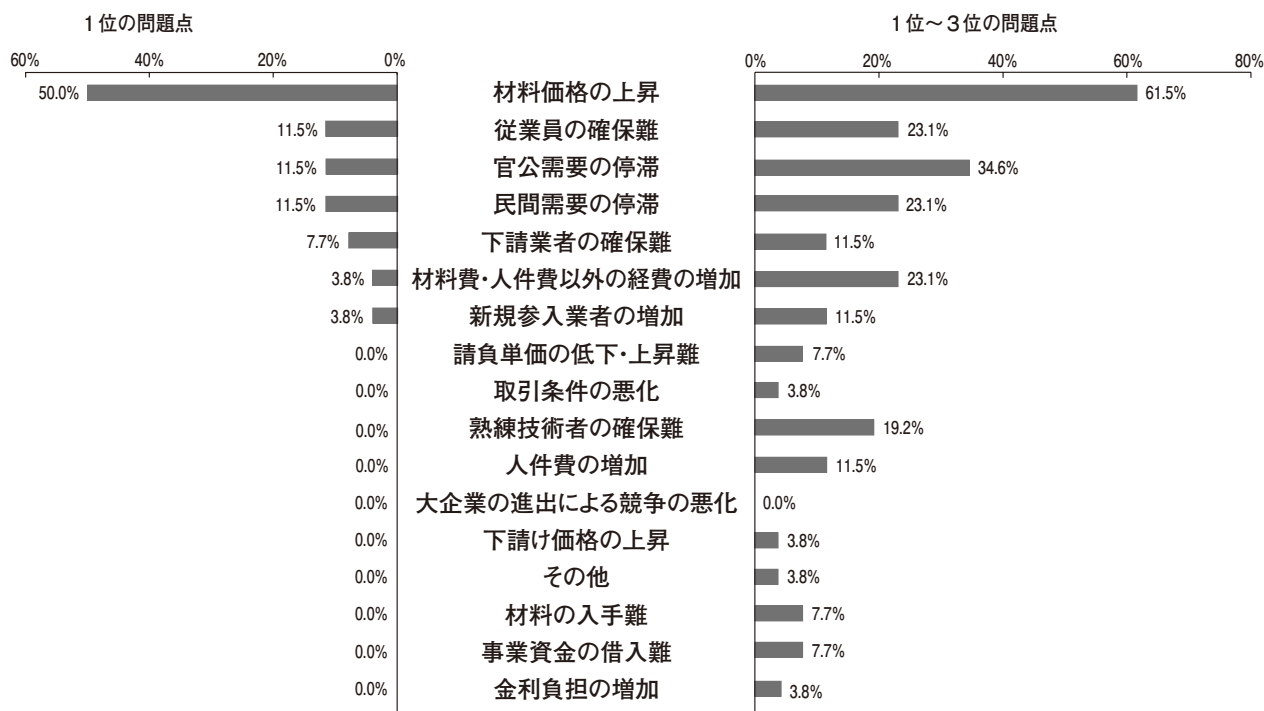
③資金繰り 前期と比較で、「好転」3.6%（前期は3.8%、前年同期は3.3%）、「不変」75.0%（前期は84.7%、前年同期は80.0%）、「悪化」21.4%（前期は11.5%、前年同期は16.7%）。来期見通しは、「好転」3.8%（前期は7.1%、前年同期は0.0%）、「不変」80.8%（前期は71.5%、前年同期は76.7%）、「悪化」15.4%（前期は21.4%、前年同期は23.3%）

### 3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業3社（建設機械2、車両・運搬具2）、実施しなかった企業25社。来期に設備投資を予定している企業2社（車両・運搬具1、OA 機器1）、予定していない企業26社。

### 4 経営上の問題点の状況（1位と1～3位）

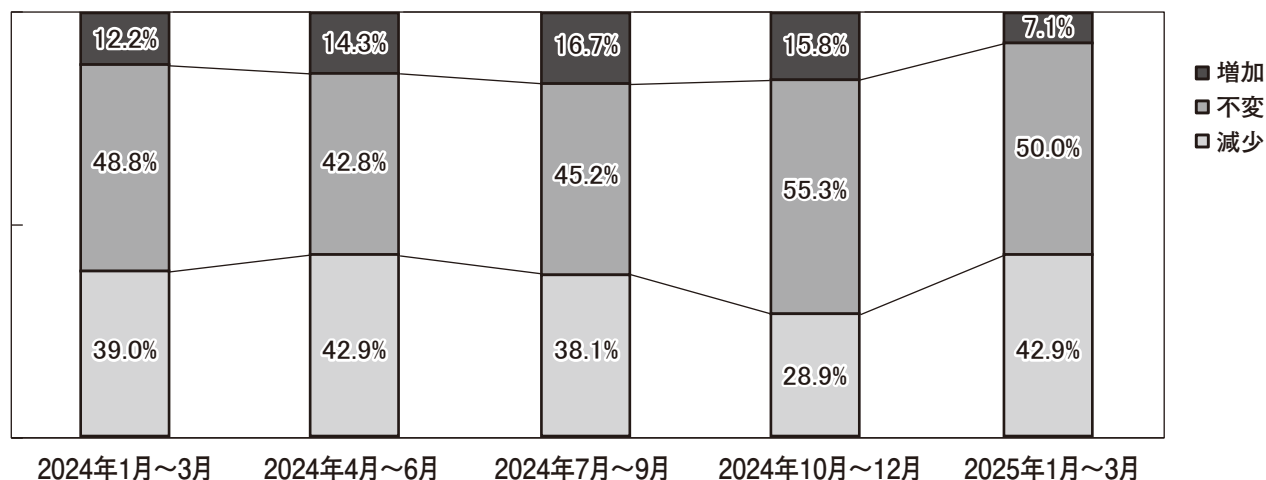


「請負単価の低下、上昇難」・「取引条件の悪化」・「従業員の確保難」の割合が低下し、「材料価格の上昇」・「下請業者の確保難」の割合が上昇した。

**借入金利** 前期と比較で、「好転」17.4%（前期は23.8%、前年同期は4.0%）、「不変」78.3%（前期は61.9%、前年同期は84.0%）、「悪化」4.3%（前期は14.3%、前年同期は12.0%）

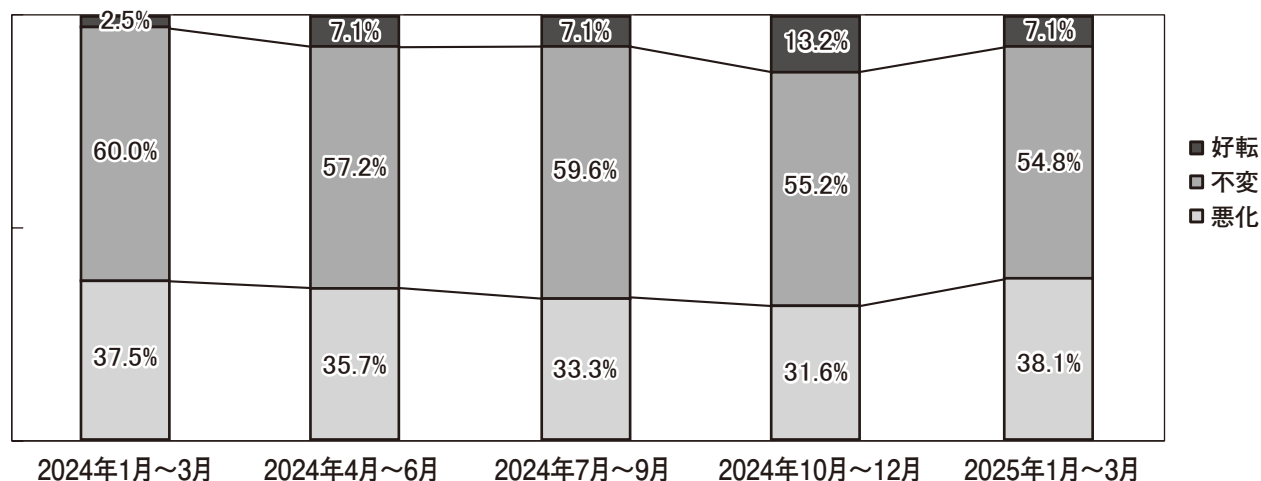
## 4. 山口県 小売業

### 1 ①売上額の状況 ー前年同期比ー



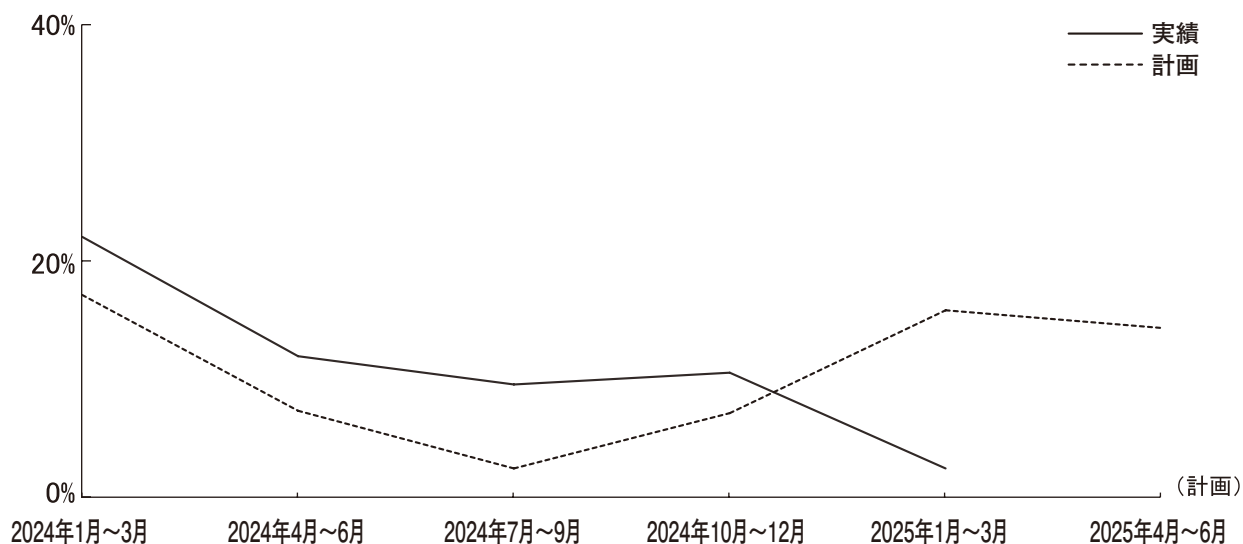
- ②前期と比較 「増加」 9.5%（前期は 31.6%、前年同期は 26.8%）、「不変」 42.9%（前期は 31.6%、前年同期 34.2%）、「減少」 47.6%（前期は 36.8%、前年同期は 39.0%）
- ③来期見通し 「好転」 13.2%（前期は 9.5%、前年同期は 17.1%）、「不変」 55.2%（前期は 54.8%、前年同期は 48.8%）、「悪化」 31.6%（前期は 35.7%、前年同期は 34.1%）
- ④その他のD I 値 客単価 -4.7（前期は -7.9、前年同期は -14.7）、客数 -35.7（前期は -26.3、前年同期 -29.3）、商品仕入単価 52.4（前期は 42.1、前年同期は 48.8）

### 2 ①採算の状況 ー前年同期比ー



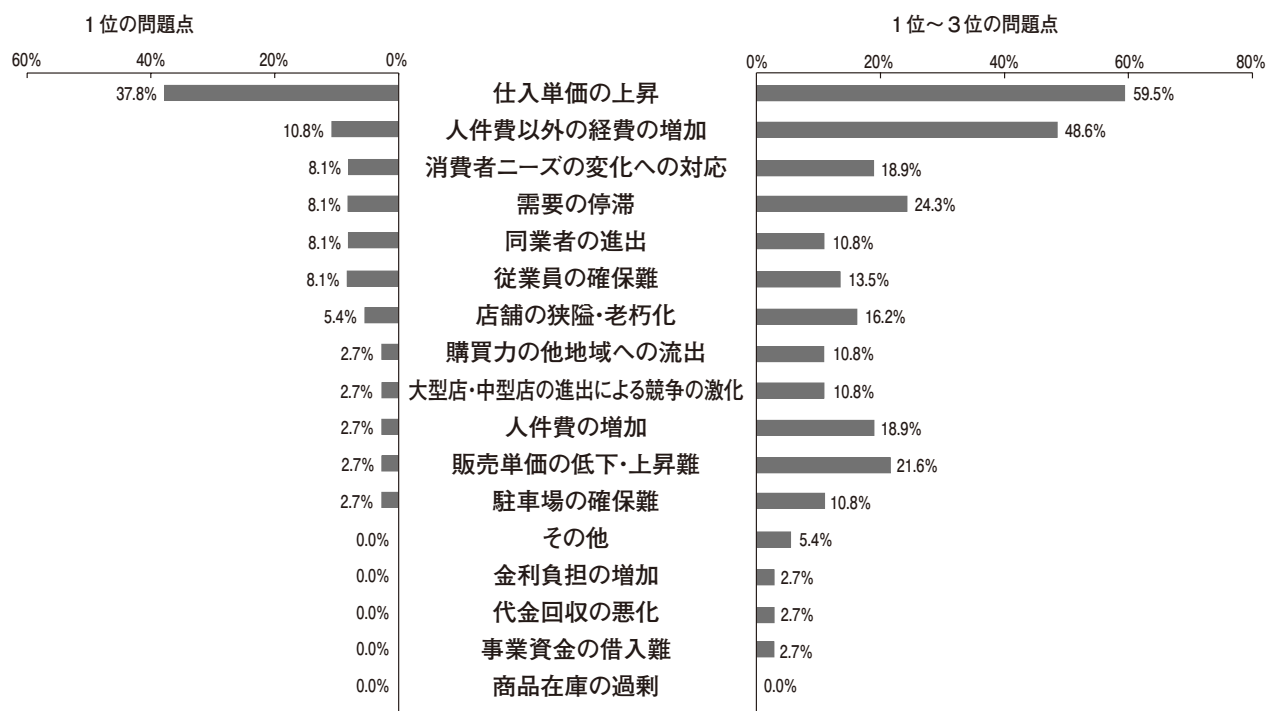
- ②来期見通し 「好転」 10.5%（前期は 7.1%、前年同期は 2.4%）、「不変」 57.9%（前期は 66.7%、前年同期は 65.9%）、「悪化」 31.6%（前期は 26.2%、前年同期は 31.7%）
- ③資金繰り 前期と比較で、「好転」 0.0%（前期は 5.4%、前年同期は 5.0%）、「不変」 81.0%（前期は 67.6%、前年同期は 77.5%）、「悪化」 19.0%（前期は 27.0%、前年同期は 17.5%）  
来期見通しは、「好転」 0.0%（前期は 0.0%、前年同期は 2.5%）、「不変」 81.1%（前期は 85.4%、前年同期は 77.5%）、「悪化」 18.9%（前期は 14.6%、前年同期は 20.0%）

### 3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業1社（OA 機器1）、実施しなかった企業41社。来期に設備投資を予定している企業6社（店舗4、販売設備3、車両・運搬具1、OA 機器1）、予定していない企業36社。

### 4 経営上の問題点の状況（1位と1～3位）

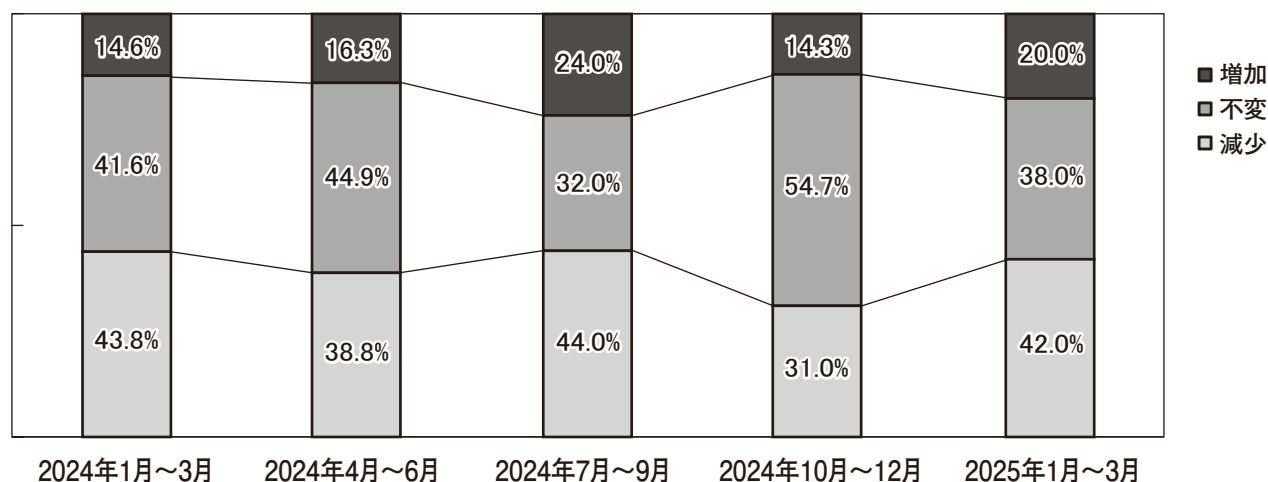


「購買力の他地域への流出」・「大型店・中型店の進出による競争の激化」の割合が低下し、「仕入単価の上昇」・「同業者の進出」の割合が上昇した。

**借入金利** 前期と比較で、「好転」8.8%（前期は 9.7%、前年同期は 0.0%）、「不変」91.2%（前期は 87.1%、前年同期は 96.9%）、「悪化」0.0%（前期は 3.2%、前年同期は 3.1%）

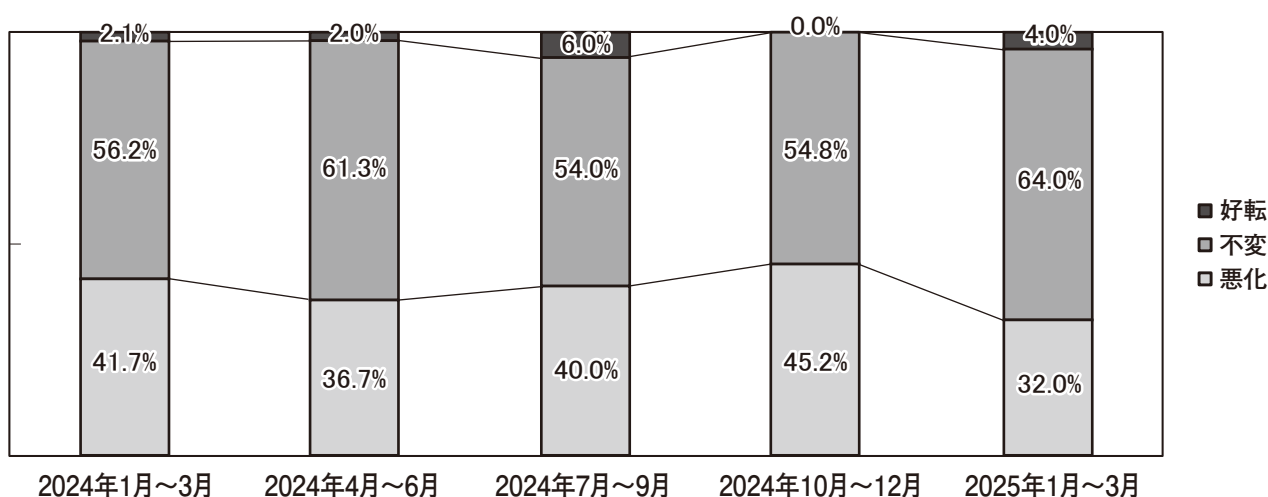
## 5. 山口県 サービス業

### 1 ①売上額の状況 ー前年同期比ー



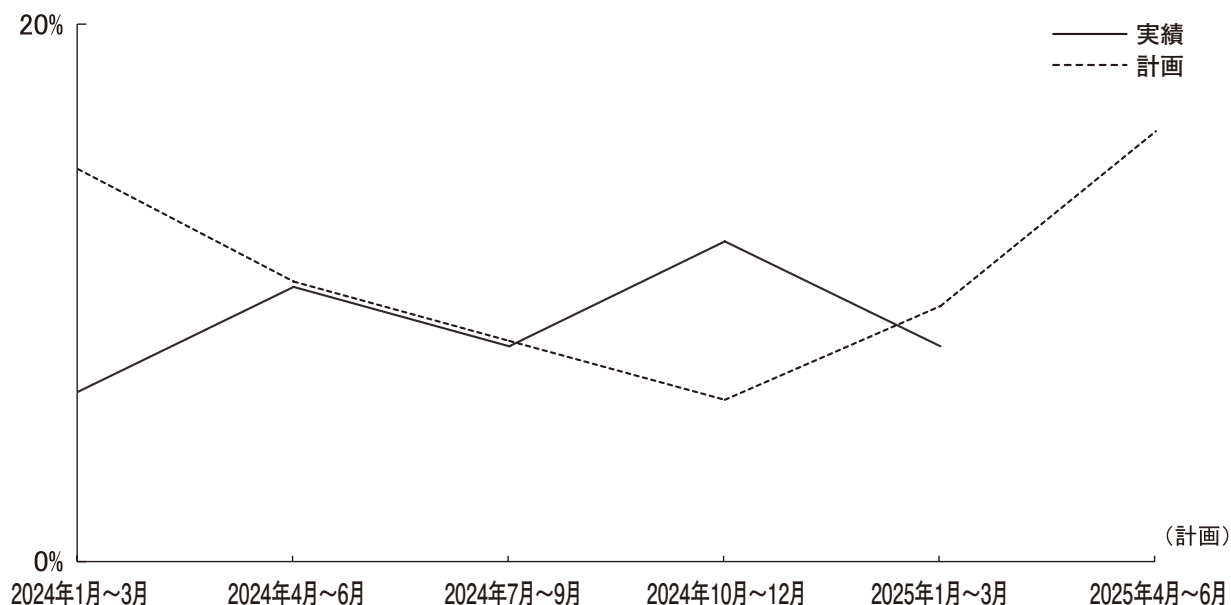
- ②前期と比較 「増加」16.0%（前期は 21.4%、前年同期は 22.9%）、「不変」40.0%（前期は 50.0%、前年同期は 31.3%）、「減少」44.0%（前期は 28.6%、前年同期は 45.8%）
- ③来期見通し 「好転」7.1%（前期は 12.0%、前年同期は 10.4%）、「不変」64.3%（前期は 52.0%、前年同期は 56.3%）、「悪化」28.6%（前期は 36.0%、前年同期は 33.3%）
- ④その他のD I 値 客単価 6.0（前期は -2.4、前年同期は -6.3）  
 利用客数 -28.0（前期は -26.2、前年同期は -29.2）

### 2 ①採算の状況 ー前年同期比ー



- ②来期見通し 「好転」2.4%（前期は 6.0%、前年同期は 4.2%）、「不変」69.0%（前期は 60.0%、前年同期は 58.3%）、「悪化」28.6%（前期は 34.0%、前年同期は 37.5%）
- ③資金繰り 前期と比較で、「好転」0.0%（前期は 0.0%、前年同期は 2.1%）、「不変」76.0%（前期は 81.0%、前年同期は 77.1%）、「悪化」24.0%（前期は 19.0%、前年同期は 20.8%）  
 来期見通しは、「好転」0.0%（前期は 4.0%、前年同期は 2.1%）、「不変」78.6%（前期は 76.0%、前年同期は 75.0%）、「悪化」21.4%（前期は 20.0%、前年同期は 22.9%）

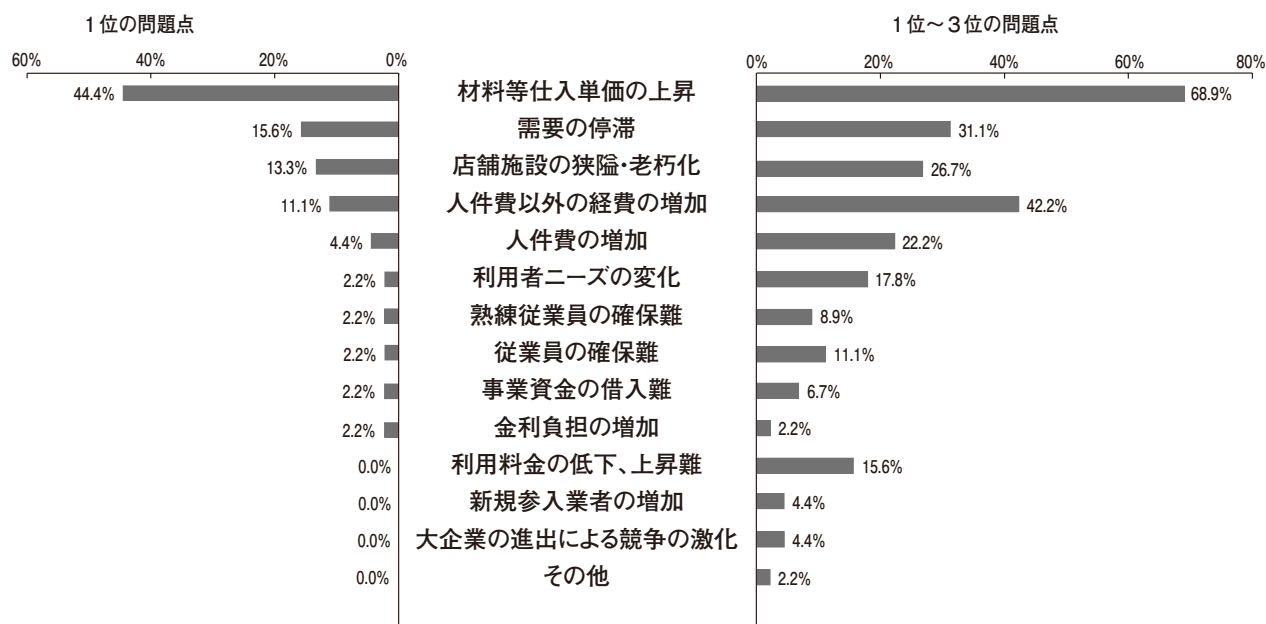
### 3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業4社（建物1、付帯施設1、OA機器1、その他1）、実施しなかった企業46社。

来期に設備投資を予定している企業8社（車両・運搬具2、OA機器2、建物1、サービス1、付帯施設1、福利厚生施設1、その他1）、予定していない企業42社。

### 4 経営上の問題点の状況（1位と1～3位）

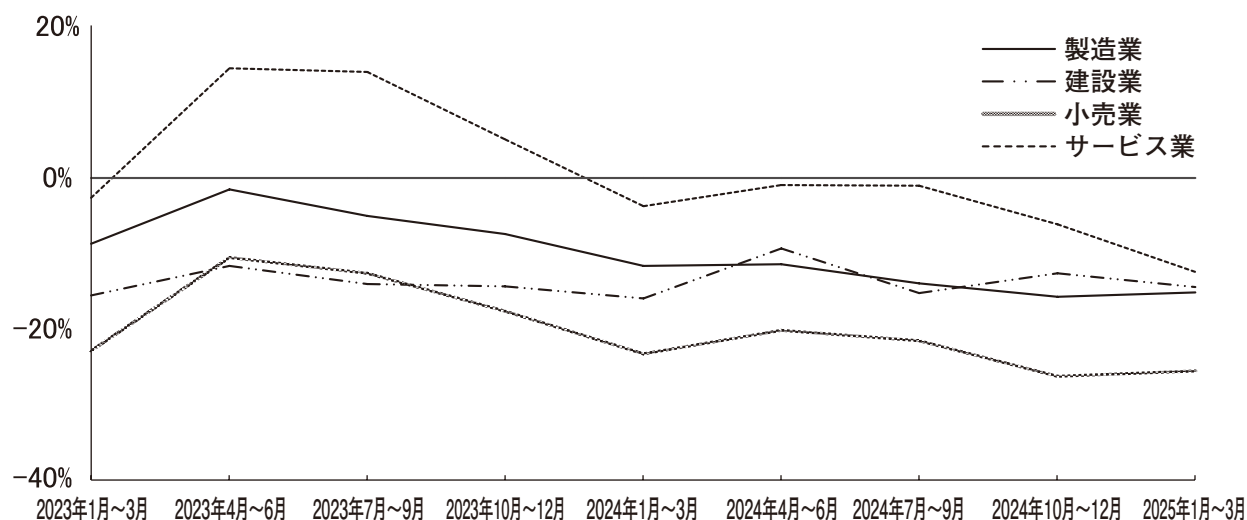


「需要の停滞」・「利用者ニーズの変化」の割合が低下し、「材料等仕入単価の上昇」・「人件費以外の経費の増加」の割合が上昇した。

**借入金利** 前期と比較で「好転」11.9%（前期は11.8%、前年同期は2.7%）、「不変」85.7%（前期は88.2%、前年同期は94.6%）、「悪化」2.4%（前期は0.0%、前年同期は2.7%）

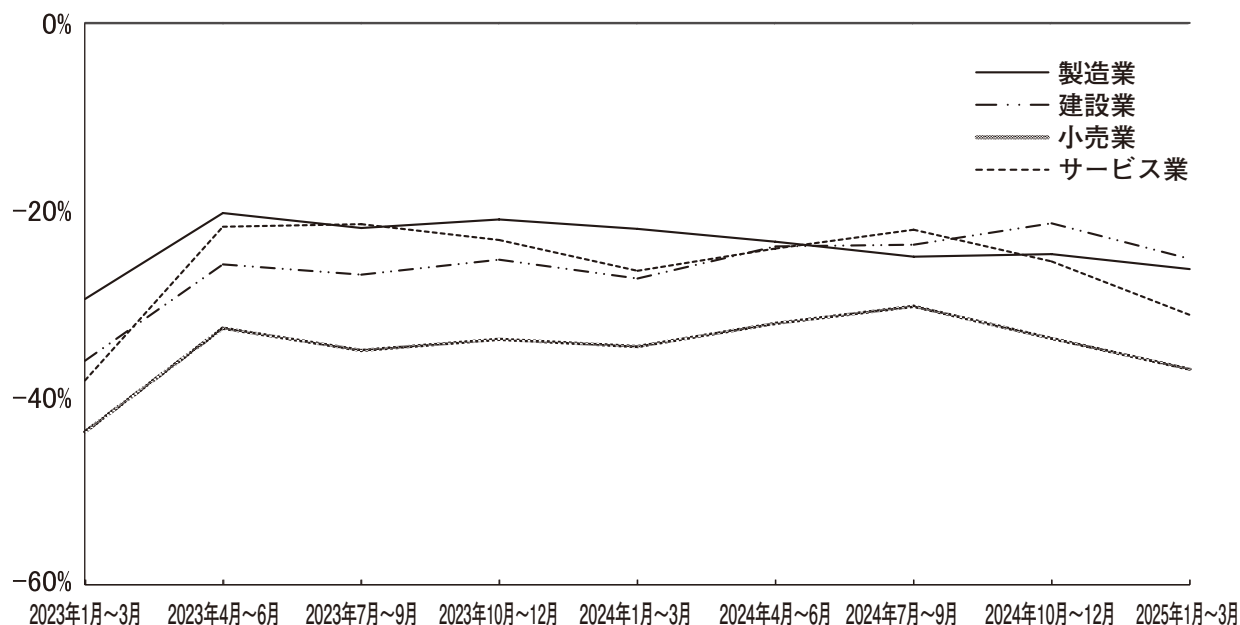
## 6. 全国 全産業

### 1 売上（完成工事）額の推移 —前年同期比—



**D I 値** 製造業－15.1（前期は－15.7、前年同期は－11.6）、建設業－14.4（前期は－12.6、前年同期は－15.9）、小売業－25.5（前期は－26.2、前年同期は－23.2）、サービス業－12.4（前期は－6.1、前年同期は－3.7）

### 2 採算の推移 —前年同期比—



**D I 値** 製造業－26.3（前期は－24.7、前年同期は－22.0）、建設業－25.2（前期は－21.4、前年同期は－27.3）、小売業－37.0（前期は－33.7、前年同期は－34.6）、サービス業－31.2（前期は－25.5、前年同期は－26.5）

## 7. 山口県 調査対象企業の声

### ■製造業■

- 原材料費などの物価高騰によるコストの上昇が厳しい。今後の商品の値上げのため、品質の向上や付加価値の付与に注力していきたい。
- 原材料価格の上昇に伴う価格の引き上げをしていないため、利益は減少している。
- 光熱費や仕入に係る交通費が増加。また、原材料の不足によって仕入価格も上昇しており、影響が懸念される。
- 毎月人口が減る一方で、地域外からの競合店の出店が進み、なかなか大変です。若い人々がたくさん働ける美祢市となり、定住者が増えていくことが望ましい。
- 我々の業界にとってこの物価高は非常に厳しく感じる1年でした。この先も、なかなかこの状況が改善するような気配はありません。何か少しでもいい話が出てくれば趣味にお金を使ってくれるかもしれません。
- 採用難による社員確保が年々困難になってきており、今後の人口減少も含め不安材料である。物価・為替・原燃料の高騰や、物流・労務費の上昇も引き続き課題である。

### ■建設業■

- 従業員数は適正だが、高齢化が進んでいるため若手社員の獲得が喫緊の課題である。
- 物価高の影響で材料や経費など様々な価格が上昇しており、利益率は低下している。
- 1月は天気に恵まれず、祭日も多く予定通りいかない事ばかりでした。下請け先も年度末はお願いが難しいので、入力での作業は人手不足です。どこも同じように頑張っておられると思ってやります。
- 材料の価格の変動が大きく、見積りに反映しにくい。
- 昨年から下請け仕事が続いているので仕事には困っていないが、いろいろな経費が上がっているので楽な経営ではない。
- 受注事業の減少、材料単価の上昇、人材の不足、人件費の増加、事業運営するのに悪条件ばかりで今後の成り行きが心配される。
- 従業員確保に困っている状況。職安に求人を出すが問い合わせはほとんどなく、60～70歳代の高齢者が多く雇用に繋がっていない。
- 燃料の高騰化や消耗品他全般に物価高が経営に響いている。元請からの工事単価は上がらず厳しい状況です。

## ■小売業■

- ガソリン価格の高止まりのみならず食料品などの値上がりで、しばらくは需要停滞の波が続くそう。去年はシステムの導入を行ったが、今年は整備機器を新調するなどして販売力を高めていきたい。
- 物価上昇や電力、米価格の上昇により、当店の販売も苦戦している。
- 今までの物価高からさらに値上げの激化により、安い商品・高い商品の使い分けをされるお客様が増えた。
- 次の一手を考えないといけないが、なかなか厳しい。
- 4月からビールが値上がりとなる。3月に駆け込み需要があるかもしれないが、4月以降の消費の落ち込みが懸念される。
- 当店の顧客は高齢化しており、購買力及び購買意欲が低下している状況である。
- 燃料及び仕入価格の高騰が経営を圧迫している。また、顧客は安売り店へ流れている状況である。
- 燃料の利益は安定しているが、今後利益が減ることが考えられるので、別の事業も見直しが必要である。
- 物価高の上昇に賃金の増額がおいついていない。農業においては高齢化、廃業が増え購入意欲が上がってこない。

## ■サービス業■

- 従来は昼営業のみであったが、原価・経費増など採算が厳しいので、観光の閑散期に合わせて夜営業を開始した。開始後は状況が好転しつつあるので、今後も夜営業を増やしていきたい。
- 団体客の予約が減少。コロナを境に利用動機が変化したと思う。
- 高齢化が進み、若者が地元を出ていかれる傾向があり、我々サービス業も厳しくなってきました。料金の値上げは厳しい状況です。でも、何とか頑張っております。
- 材料費、経費、人件費の増加により、役員の給料を下げて黒字を保っています。インフルエンザ、コロナによるキャンセルも多いです。お客様の笑顔で頑張る。
- サラダオイルなどでも実施されましたが、共同購入の機会がもっと多くあるといい。
- 店舗の老朽化や仕入れ値の上昇に悩まされる。利用料金を上げるべきか？ほかには人口減少の課題がある。
- 食材や経費の高騰が続く、価格を改定してもさらに材料が値上がりして苦しい。意図的に値上げへと促しているんだなと感じてしまう。仕事と悩みが増えるだけなので止めさせてほしい。
- 1月より諸事情により、食事なしにしました。売上、宿泊数も減少すると思います。3月より土日の昼の食事、スイーツの販売等に力をいれたいと思っています。

- 利用者ニーズの変化により、売上金額が上がりづらい状況になっている。
- 値上げにより売り上げ単価は上昇したが、受注減少により売り上げは下がった。いまだに値切られることがある。
- 材料の確保に尽きる。
- 結婚式数が減少していることから、写真婚にシフトし集客促進に取り組んでいる。1～3月は寒波の影響もあり、写真婚の予約が4月以降にずれ込み、依然として厳しい状況は続いている。
- 現在は高齢化が進み、免許も返納されますので、車両の廃車が多く悩むところです。今、当社を維持していくためには、空き家を確保され、沢山の移住者を取り入れていくよう頑張ってもらいたいと思います。
- 物価高騰により顧客がシビアになっており、単なる買い控えではなく、値ごろ感を求めている。今後、更なる経費の上昇が予測されるため、他店との差別化を図る工夫も必要である。
- 寒冷地のため、お客さんが来られなくて売り上げに結びつかないうえに人口減少、高齢化で売り上げが上がりづらい困っている。
- 現状では住宅着工件数の減少及び燃料の高騰が経営課題として挙げられる。
- 少し需要は回復したが、利用料金の上昇難や材料等仕入単価の上昇、ガソリンの高騰がマイナスとして響き、採算としては少し悪化している。厳しさは変わらない。